

おるご〜る

No.26
2021
Spring



和光市男女共同参画推進係
「わこうさん」

あなたの心のふたを開けて、思いを解き放ち、その思いを自分らしく奏でてほしい…。そんな願いから「おるご〜る」と名づけられました。

コロナ禍と男女共同参画 ～コロナ禍が増大させた格差や差別～



エッセンシャルワーカー

コロナ禍は、就労環境を悪化させ、非正規雇用者やエッセンシャルワーカー※を直撃しました。その多くは女性です。自粛生活では、以前にも増して性被害、誹謗中傷、パワハラ・セクハラ・虐待などが目立ちました。
男女共同参画の視点からコロナ禍を考えてみませんか？

※「エッセンシャルワーカー」とは、人々の命に係わる業務や日常生活を維持するために欠くことのできない職業に携わる労働者。(医療・福祉・農業・小売販売・通信・公共交通機関など)

コロナ禍を機に、男女共同参画を考えよう

新しい生活様式の下で、

- ① 女性差別が(を)、「起きない&起こさない」ように
- ② 女性が積極的に意思決定の場へ参加できるように
- ③ これを機に、固定的性別役割分担を解消し、男女平等社会の構築へ

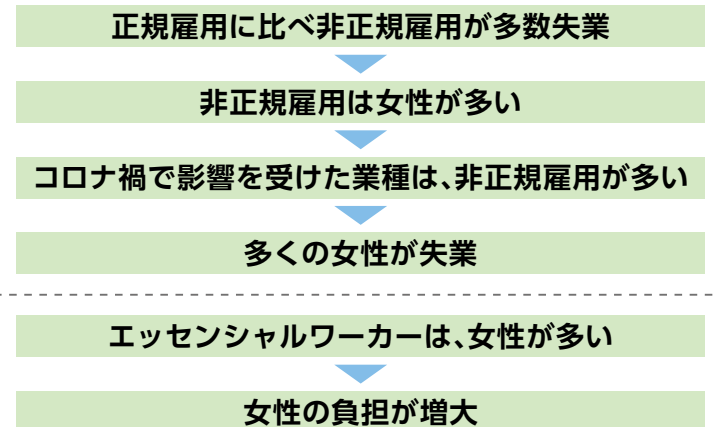
拡大した職種や雇用形態での格差

新型コロナウイルス感染症対策が本格化した2020年4月以降の雇用状況を見ると、正規雇用比べて非正規雇用の労働者が大幅に減少しました。非正規雇用の約7割は女性です。休業を余儀なくされた店や企業等による解雇や雇止めが社会問題となると同時に、多くの女性が仕事を失った実態が明らかとなりました。

産業別に見ると、製造業のうちの食品製造業、卸売・小売業、不動産・物品賃貸業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス・娯楽業、教育学習支援業、医療・福祉、サービス業(他に分類されないもの)は非正規雇用者が多く、コロナ禍の影響を受けている業種とされています。このようなことから多数の女性が失業した背景には構造的な問題があったことが見えてきました。

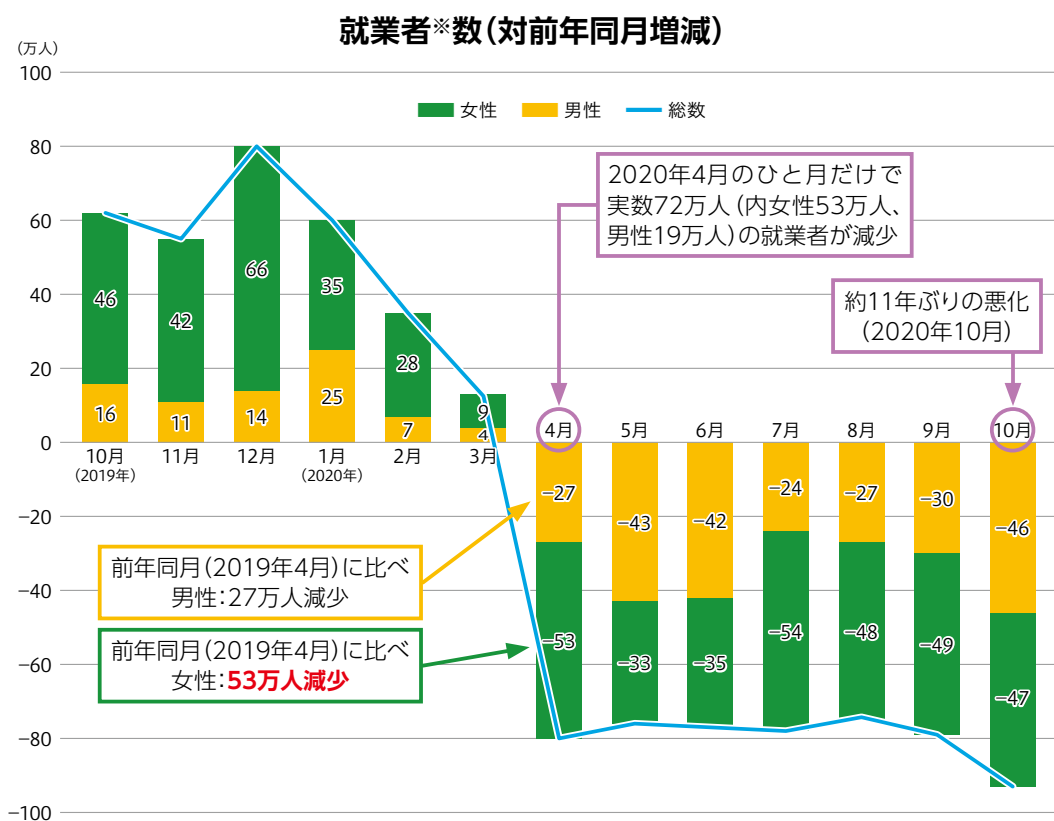
また、コロナ禍ではシングルマザーの困窮がニュースなどで伝えられました。これも多くのシングルマザーが子育てとの両立をはかるために非正規雇用を選択していた現実と密接に関係しました。コロナ禍での雇止めは社会的弱者にしわ寄せが行く形となってしまいました。

雇用形態と業種と女性の関係フローチャート



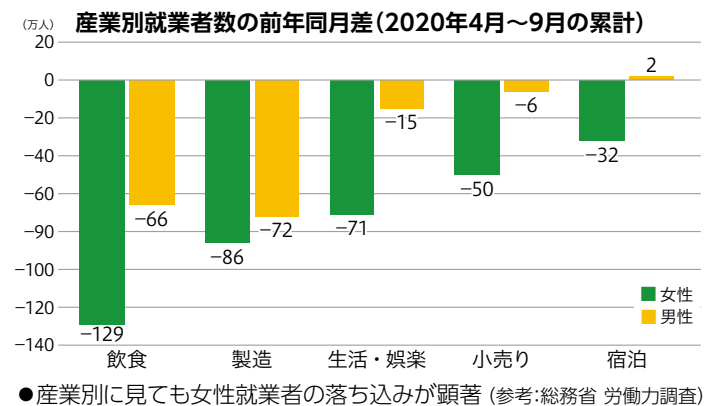
コロナ禍の就業者数の減少は、女性が大半

第1回緊急事態宣言が発令された2020年4月を境に就業者数が大幅に減少。女性に多い非正規雇用に対する雇止めが数字にも表れました。



※就業者:従業員と休業者を合わせたもの。就業者は、「自営業主」、「家族従業者」、「雇用者」に分かれる

産業別の男女別就業者数の落ち込み



●産業別に見ても女性就業者の落ち込みが顕著(参考:総務省 労働力調査)

雇用者数の推移

2020年	正規		非正規		合計
	女性	男性	女性	男性	
1-3月	1,161	2,348	1,478	674	5,661
4-6月	1,206	2,337	1,380	656	5,579
差	45	-11	-98	-18	-82

- 非正規雇用のうち、約7割を女性が占めていた
- 2020年1-3月に比べ、4-6月では女性・非正規雇用者が**98万人減少**

女性の正規雇用増加の要因

コロナ危機前からの人手不足感の中で、今回の危機における性別、産業別に雇用の動向を見ると、「情報通信業」、「運輸業・郵便業」、「不動産業」、「医療・福祉」については、男女とも正規雇用の増加が続いている一方、「卸売業・小売業」「金融業・保険業」では、男性の正規雇用は減少傾向を見せたのに対し、女性の正規雇用は増加が続いていることが要因の一つと考えられます。(独立行政法人労働政策研究・研修機構 総務部長 中井 雅之さん)

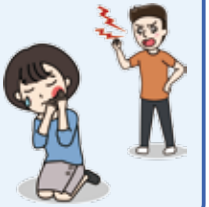
専門家に
聞きました

いわゆる「世帯主問題」とは？

昨年、住民一人あたり10万円を支給する「特別定額給付金」制度が実施され、「受給権者は世帯主」、「世帯主の指定した口座に家族分をまとめて振り込む」とされました。そして、二人以上の家庭では世帯主の多くは男性(夫や父など)です。

この方法に対し、世帯主の独り占めや家庭内暴力(DV)や虐待の被害者などが受け取れない可能性があるとの懸念や批判が起こり、受取方法が柔軟になりました。

住民一人ひとりに配慮したシステムの構築が望まれています。



増加した女性の家庭内負担—家事・無償労働

緊急事態宣言下の巣ごもり生活では家事に加えて育児、介護が全面的に家庭に委ねられました。これらの仕事も生活していく上で欠かせないという意味でエッセンシャルワークです。各種機関のアンケート調査結果を見ると、巣ごもり生活では共働きでも家庭内エッセンシャルワークに割く時間は女性のほうが増えたことがうかがえました。

(参考資料:静岡市女性会館/ニッセイ基礎研究所/野村総合研究所/一般社団法人日本ケアラー連盟)

介護シーンでは？



介護現場では現在も通所施設のサービス縮小などが続いており、家庭内の介護者に重い負担がかかっているのが現状です。

【介護時間】●1日平均5.7時間増加

●今までより長くなった=37%

家事・育児シーンでは？



【家事時間】子どもが小学生以下の家庭

●「増加」と回答した女性=約7割

【育児時間】第一子が高校生以下の共働き夫婦

●「増加」と回答した女性=37.5%

●「増加」と回答した男性=19.4%

約2倍

深刻化したDVや性被害に支援策が強化

自粛生活が始まった2020年4月以降、DV(家庭内暴力)の相談件数が激増しました。専門家は「もともとあったDVが自粛生活で顕在化した」と見えています。このような状況を受け、右図のように国や自治体の支援が強化されました。

DV相談は……… **DV相談プラス** 検索

- 電話相談 ▶ **#8008** (24時間)
- メール相談 ▶ 24時間
- チャット相談 ▶ 12:00~22:00

自粛生活/コロナ禍ではこんな問題も!!

- 望まない妊娠の増加
- 家に居場所がない女性の性被害
- 女性の自殺の急増(特に若い世代)

●自殺の要因となりえる、「その背景に…」
「雇用、暮らし、人間関係の問題」が悪化

●相次ぐ有名人の自殺及び自殺報道
(参考 厚生労働省「自殺総合対策の推進に関する有識者会議」資料)

性暴力相談は…… **キュアタイム** 検索

性暴力SNS相談 Cure Time

- チャット相談 ▶ 月・水・金・土曜 16:00~21:00
- 電話相談 ▶ **#8891**

Twitter & インスタ 配信も!

コロナ禍を機に考えよう!

コロナ禍は、女性が男性に比べて多くの面で、不公平、不利に扱われていることを明らかにしました。また、コロナ禍の下で、社会的弱者、特に、女性に対する暴力や虐待を目にし、耳にしました。その一方、私たちは、女性の労働が健康で安全な社会の維持に不可欠であることも実感してきました。

固定的な性別役割分担を見直し、女性の果たしている貢献を評価すること、女性への暴力を根絶し、あらゆる場面で指導的な立場に参画する女性の割合を増やしていくことが、活力ある社会を構築する上で求められています。

今回の教訓を生かし、政府・自治体だけでなく、一人ひとりが男女共同参画の推進に取り組むことが大切です。



2021,2022年度 男女共同参画わこうプラン推進委員を募集します!

募集期間:2021年4月2日(金)まで

毎月1回程度(計7回/年度)、会議を開催して、和光市男女共同参画情報紙『おるご〜る』の作成に向けて話し合いをし、情報紙を作成していきます。男女共同参画について、一緒に考えてみませんか。アットホームな雰囲気で行われています。ご興味のある方、ぜひ、ご連絡ください!

編集後記

◎和光市男女共同参画アドバイザー

●コロナ禍は男女格差や性差別を拡大して目に見えるものになりました。コロナによる女性の収入減を性風俗と結びつけて「楽しみ」と発言した芸能人も登場、オリパラ開催の重鎮も、女性の社会参画を妨げる差別的な発言でメディアを賑わせました。改めて男女平等・女性の人権の重要性を心に刻みました。(西山 千恵子<青山学院大学、慶應義塾大学、東京国際大学非常勤講師>)

◎男女共同参画わこうプラン推進委員(五十音順)

●昨年来ミツバチを観察しています。ミツバチは女社会でオスはごく少数派です。おるご〜る制作に関わることで人間社会の課題についても深く考える機会となりました。(浅野 里香)
●コロナ下では、この紙面では語り尽くせないほどいろいろなことが起き、また多くのダメージをもたらしています。回復させるには、絶対に男女が共同しなければ成り立たないことを教えられました。(大河内 茂美)

■おるご〜るへのご意見・ご感想等ありましたら、総務人権課 庶務・人権担当までお寄せください

☎ 424-9094 ☎ 464-1234 ✉ a0400@city.wako.lg.jp